

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 6年 3月 1日

事業所名 ススミダス

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	2		2		利用定員に対するスペースは 適切である。活動内容によって 必要なスペース、エリアを使用 できるよう改善する。
	②	職員の配置数は適切である	2		2		担当職員の休暇等に対応で きるようにする。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	4				
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	4				
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	4				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	4				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	第三者評価はまだ行っていません。				
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	3		1	専門職によるコン サルテーション、職 員会議の中で内部 研修を実施している	コンサルテーションの継続。 内部研修に職員全員が参加で きる仕組みを作る。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	4				
適切 な支 援の 提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	4				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1			支援終了後の気づきを活動 プログラムにつなげる。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	4				
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	4				
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	4				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	4				
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	3		1	一週間に1回程 度、担当者同士で支 援内容や事例につい て話し合う時間を設 けている。	支援終了後に当日の振り返 り・活動準備ができる仕組み作 り。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	3		1	一週間に1回程 度、担当者同士で支 援内容や事例につい て話し合う時間を設 けている。	支援終了後に当日の振り返 り・活動準備ができる仕組み作 り。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			クラウドサービスを活用している。		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4					
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	4					
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4					
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4			学校から送られてきた情報を担当者で共有している。		
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	医療的ケアが必要な子どもの利用がありません。					
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1		保護者同意のもと、利用前に情報提供を受け、職員間で共有している。	子どもの個人ファイルをの内容を整理し、情報を共有しやすいよう改善する。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	学校を卒業する年齢の子どもの利用がありません。					
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3		1	専門職によるコンサルテーションで助言を受けている。	コンサルテーションの継続。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			4	隣接する同一法人運営の保育園の子ども、保育士と交流がある。	地域の放課後等デイサービスの事業所の状況を把握し、他の子どもと交流する機会の検討を行う。	
	㉗	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	3	1		委員として全体会に参加、子育て支援部会の部会員として部会に参加している		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4					
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			4		家族支援プログラムとして、具体的にできることを明確にする。	
		⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4				
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			年間3回の面談を実施。希望があれば随時面談に応じている。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2		2		保護者ニーズを把握し、保護者会の開催、保護者同士が交流できる機会を計画する。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4				
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			クラウドサービスを利用し、活動の概要、予定を伝えている。	学校の長期休暇中の対応、避難訓練や引渡し訓練等の情報を計画的に伝える。
	③⑤	個人情報に十分注意している	4				
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4				
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2		2		
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	1	1	重要事項説明時に保護者に伝えている。	職員間でマニュアル等の共有を図る。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている			4	保護者引渡し訓練を行うことができた。	学校休業日、放課後利用日に計画的に避難訓練を実施する。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			毎月1回の職員会議で議題に取り上げ、研修を行っている。	今後も定期的、継続的に研修を設ける。職員が虐待防止・権利擁護に関する研修に参加し、内容を事業所内で共有する。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4			身体拘束を行う場合は、必要な手続きを取り対応するようにしている。	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			給食提供の際、アレルギーチェックを徹底している。	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			ISOメモを作成、職員間で共有している	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。